

「第9回 INMM/ESARDA/INMMJ 合同ワークショップ開催案内」

ワークショップの概要

核物質管理学会（INMM）、欧州保障措置研究開発協会（ESARDA）、および日本核物質管理学会（INMMJ）は、国際保障措置と核セキュリティの強化のための将来の挑戦のためにワークショップを開催します。これはシリーズの9回目のワークショップで、日本における開催は、今回が3回目となります。以下のメインテーマに従って4つのWGで議論を行います。

テーマ：国際保障措置と核セキュリティの強化のための挑戦

- 国際保障措置の挑戦
- 核セキュリティの一層の強化
- 福島第一発電所を踏まえた原子力施設の廃止措置に係る核セキュリティ及び保障措置

ワーキンググループ

WG-1: International Safeguards

WG-2: Nuclear Security

WG-3: Nonproliferation and Arms Control

WG-4: Nuclear Knowledge Retention

開催期間 : 2019年10月7日～10日

開催場所 : 東京国際交流センター(TIEC)、プラザ平成（3階および4階）

URL : <https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/plazaheisei/index.html>

ワークショップの言語 : 会議は全て英語です。通訳はありません。

参加費

一般会員	¥20,000
賛助会員	¥20,000（但し、参加1名/1口限り）
学生会員	無料
非会員	¥25,000
非会員学生	¥3,000
懇親会のみ参加	¥3,000

参加費（懇親会のみ参加を含む）のお支払い

2019年11月末までに下記にお振込み願います。振込手数料は貴方でご負担願います。請求書

が必要な場合は参加申込書の所定の欄を記入ください。原則として領収書の発行はいたしません。

お振込先

銀行名 : みずほ銀行新橋支店 (支店番号 130)
口座番号 : (普) 4002928
口座名 : 日本核物質管理学会

参加登録方法

添付の参加申込書の所定事項を記入し、INMMJ 事務局に送付願います。

参加登録締め切り

2019年9月13日

参加登録のキャンセルについて

2019年9月24日までに日本核物質管理学会事務局まで書面での参加登録の取り消しのご連絡が無い場合、欠席された場合も参加費はお返しいたしません。

施設等見学ツアー

INMMJ ではワークショップの終了後、下記の施設等を見学する一泊のツアーをご用意しています。

ツアー 1: JNFL 原子力関連施設

- ① P R 館見学、②ウラン濃縮工場 (RE-2 窓越し)、③返還ガラス固化体貯蔵センター (窓越し)、④中央制御室見学ギャラリー、⑤使用済み燃料受入貯蔵施設 (窓越し)、⑥再処理・濃縮の保障措置についてのご説明 (含む質疑応答)

旅程 : 10月10日午後3時

ワークショップ会場出発。東京駅から新幹線にて八戸に移動。八戸で一泊。11日施設見学後新幹線にて東京に帰着。到着後解散。

参加費 (交通費、宿泊費および11日の昼食代を含む) :
¥57,800 (シングルルーム)

ツアー 2：東京電力福島第一原子力発電所

- 廃炉資料館
- 発電所構内視察（構内バスにて－降車なし）
 - ① 既設多核種除去設備（ALPS）、②増設 ALPS、③1～4 号機外観確認、④地下水バイパス施設、⑤4 号機原子炉建屋、⑥陸側凍土遮水壁設備、⑦サブドレイン設備、⑧海側設備物揚げ場、⑨6 号機非常用ディーゼル発電機、⑩雑个体廃棄物貯蔵庫（第 9 棟）、⑪サブドレイン浄化設備、⑫乾式キャスク仮補完設備、⑬乾式キャスク仮保管設備、⑭免震重要棟、⑮高性能多核種除去設備（高性能 ALPS）
- 見学後の Q&A セッション

旅程：10 月 10 日午後 2 時

ワークショップ会場から貸し切りバスにて福島 J ビレッジに移動。J ビレッジ隣接ホテルに一泊。11 日見学後、貸し切りバスにて東京に、到着後解散。

参加費（宿泊費、交通費、見学日に昼食代を含む）：

¥36,300（シングルルーム）

ツアー 3：広島平和記念館、爆心地、世界遺産厳島神社訪問（通訳付き）

旅程：10 月 10 日午後ワークショップ会場出発。東京駅より新幹線で広島に移動。広島で一泊。11 日午後東京に向けて新幹線にて移動。東京到着後解散。

参加費（交通費、宿泊費、昼食代、施設入館料を含む）：

¥72,500（シングルルーム）

参加費は、ワークショップ参加登録費と同じ振込先に必ず 2019 年 9 月 27 日までにお振り込み願います。

ツアー参加申込み

参加希望の方は、添付の「施設見学ツアー参加申込書」に所要事項を記入し、INMMJ 事務局にご提出願います。なお、ツアー 1 またはツアー 2 に参加される方は、別紙「個人情報申告書」にパスポート（写真面）または自動車運転免許証の写しをツアー参加申込書に添付してご提出願います。

注 1：ツアーに関する詳細スケジュールは 7 月末頃に改めてご連絡いたします。

注 2：ツアー 1 または 2 に参加される方は当日パスポートか運転免許証をご持参ください。パスポ

ートや運転免許証のご提示が無い場合、施設見学ができません。

ツアー参加申込み締め切り： 2019年8月30日（厳守）

ツアー参加のキャンセルについて

ツアー参加のキャンセルは以下にて承ります。

20日前～14日前まで……………旅行代金の20%

13日前～8日前まで……………旅行代金の30%

7日前～2日前まで……………旅行代金の40%

旅行開始前日……………旅行代金の50%

旅行開始当日……………旅行代金の100%

天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令その他の事由が生じた場合において、旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、又は不可能となるおそれが極めて大きいときは上記に記載したキャンセル料なしで旅行契約を解除することができます。

ツアー最少催行人員： 各ツアー15名

報道取材等について

日本核物質管理学会の広報活動の一環として、ワークショップならびにツアーの写真撮影を行います。また、ニュースメディアによる取材活動が行われますので予めご了承ください。

ワークショップおよび見学ツアーの詳細については以下にお問合せ下さい。

日本核物質管理学会事務局

TEL： 03-6371-5830、-5835

FAX： 03-6371-5808

E-mail： jimukyoku@inmmj.org

第 9 回 INMM/ESARDA/INMMJ 合同ワークショップ°
参加申込書

参加者名 :

日本語 _____

英語 _____

所属組織名 :

日本語 _____

英語 _____

職名 :

日本語 _____

英語 _____

参加区分 : 該当するボックスに✓を入れて下さい。

会員 (賛助会員) 非会員 学生会員 非会員学生

連絡先住所 : 〒

電話 : _____

E メールアドレス : _____

参加を希望するワーキンググループ

WG-1 : International Safeguards

WG-2 : Nuclear Security

WG-3 : Nonproliferation and Arms Control

WG-4 : Nuclear Knowledge Retention

懇親会のみ参加

請求書が必要な場合はここにチェックを入れ,請求書の宛先を明記願います。
請求書送付先 (住所と宛先) :

施設見学ツアー参加申込書

宛先：日本核物質管理学会

Eメール：jimukyoku@inmmj.org FAX: 03-5871-5808

参加者名：

日本語 _____ ローマ字 _____

所属組織名：

日本語 _____

英語 _____

役職名：

日本語 _____

英語 _____

参加を希望するツアー（次のボックスにチェックを入れてください）

ツアー 1 JNFL 原子力関連施設

ツアー 2 東京電力福島第一原子力発電所

ツアー 3 広島平和記念館、爆心地、世界遺産厳島神社訪問

連絡先：

携帯電話番号 _____

Eメールアドレス _____

参加費請求書が必要な場合は、以下に請求書送付先および宛名を明記して下さい。

原則として領収書の発行はいたしません。

（請求書送付先）

（宛名）

施設立ち入り申請用個人情報

(ツアー 1 またはツアー 2 に参加される方は以下の情報が必要です)

姓 : _____

名 : _____

性別 : 男性 女性

体重 (kg) _____

身長 (cm) _____

生年月日 (西暦) _____

国籍 : _____

電話 : _____

住所 : _____

所属組織の法人格 : _____

所属組織名 : _____

役職名 : _____

本書にパスポート (顔写真面) または自動車運転免許証の写しを添付願います。